

事業所における自己評価結果

事業所名		LikeMe尼崎・LikeMe尼崎琴浦・LikeMe尼崎大庄中通・LikeMe尼崎南初島		公表日 令和 7 年 5 月 1 日	
	チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員に対して、世話人・生活支援員の配置数は適切であるか。	○	十分な支援ができるように、人数の多い住居には世話人を2名配置して業務をおこなっている。	
	2	生活空間は、利用者にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	△		様々なこだわりを持たれる利用者様がおられるため、視覚的支援や個々の支援では配慮が必要になる。一戸建ての住宅のため、バリアフリー化が難しい。
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか。	○	毎日の定期的な清掃と、社員の巡回をおこない、清潔かつ気持ちよく生活のできる場をもうけている。	
	4	必要に応じて、利用者が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	全利用者様に居室があり、落ち着いた環境で過ごせる場所を提供している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	△		出勤日数が少ない職員への周知や参加が難しく、
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	×		保護者向け評価表や保護者の方々と意見等を把握する機会を設けることが現状できていない。
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	各住居の世話人とコミュニケーションをとり、意見や相談等を聞くことで業務改善に繋げている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	×		第三者による外部評価を行っていない。今後検討予定。
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	毎月研修をおこない職員の資質の向上に繋がっている。また、今後は研修がおこないやすい環境を整えるためにオンライン講義を導入予定。	
	10	個々の利用者に対してアセスメントを適切に行い、利用者や保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○	サービス管理責任者と世話人とのコミュニケーション、その他フォーマルサービス事業者との連携を密にとり、些細な変化等も家族へ報告をおこなっている。	
	11	個別支援計画を作成する際には、サービス管理責任者だけでなく、利用者の支援に関わる職員が共通理解の下で、利用者の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	サービス管理責任者と世話人とのコミュニケーション、その他フォーマルサービス事業者との連携を密にとり、些細な変化等も家族へ報告をおこなっている。	
	12	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	書面の電子化により、全住居において必要な支援内容等を共有している。	
	13	利用者の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	フォーマル・インフォーマルとも、情報の共有をおこなっている。	
	14	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、利用者の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	△		地域支援・地域連携の支援がまだ具体的に設定されていないため、今後検討予定。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	各住居の主となる職員と事前に話し合いや支援内容の共有をおこない、連携しながら支援をおこなっている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	△		打ち合わせ等は口頭でのみ日々の聞き取りをおこなっている。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎日の記録を徹底し、利用者様の変化や支援に疑問点があれば職員間で共有するようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	日々の生活支援員・世話人の職員に聞き取り調査をおこない、また日中の活動先へも聞き取りをおこない適切な支援の見直しをおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	19	相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その利用者の状況をよく理解した者が参加しているか。	○		
	20	地域の医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	毎月の往診や看護師配置を実施し、利用者様の日々の状態や服薬の状況を医療機関と連携している。	
	21	生活介護・就労支援事業所との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	支援を開始・変更する際は必ず他事業所へも情報共有をおこなっている。また、日々の利用者様の様子の変化も連絡帳等を用いて共有をおこなっている。	
	22	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	△		保護者がおられる利用者様に関してはご家族様へ日々の状態を共有しているが、ご家族様がおられない利用者様に関して、成年後見人様への情報共有がなかなかできず難しい。
保護者への説明等	23	運営規程、個別支援計画、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	入居時に利用者様、またはご家族様へ説明をおこない、理解・納得していただいたうえで契約をおこなっている。	
	24	個別画を作成する際には、利用者や保護者の意思の尊重、利用者の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、利用者や家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	作成前には利用者様やご家族様への話し合いや聞き取りをおこない、ご本人様のニーズに沿った個別支援計画の作成に取り組んでいる。	
	25	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○		
	26	定期的に、家族等からの悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	定期的にご家族様と話し合いをする機会を設け、小さな悩みであっても相談していただける雰囲気意識して関わりをもっている。	
	27	利用者や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	28	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信しているか。	△		今後グループホーム内でのイベントや活動内容を発信予定。
	29	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	LINEを使用する際は、利用者様の名前を伏せ字にして発信をおこない、個人情報保護に留意している。	
	30	障害のある利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	情報伝達や掲示物には視覚的支援を取り入れることでより理解がしやすくなるように取り組んでいる。	
	31	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	×		今年度から実施予定。
		32	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各住居の目の届きやすい場所にマニュアルを設置し、定期的に内容の見直しをおこない職員に周知するよう発信をおこなっている。
33		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	△		定期的な訓練をおこなっているが、全職員が一度に訓練に参加することが難しく、いかに全員へ周知ができるかが課題になっている。

非常時等の対応	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を確認しているか。	○	各住居に利用者様のアセスメントや服薬情報をファイリングし、いつでも取り出しやすい場所に保管している。また、常に最新の情報を更新するように意識している。	
	35	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされているか。	△		全利用者様のアレルギー情報を完全には熟知はできておらず、今後医療機関と連携しながら改善をしていく。
	36	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットがおこった際は必ず報告書を提出していただき、今一度日々の業務の見直しを職員間でおこない再発防止を検討している。	
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	オンライン研修を導入することでより質の高い研修内容を取り入れ、職員の知識や意識を高めている。	
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○	可能な限り身体拘束をおこなわない支援を検討した上でやむを得ない場合があった時に限り、利用者様、ご家族様に十分に説明をおこないご理解をいただいた上で個別支援計画に反映するようにしている。	